

## ．その他

### 1．特許技術分類と周辺特許調査

当事業で申請された特許 37 件の内、平成 15 年 7 月末時点で特願済みの特許 34 件について特許技術分類と技術要素分類を行った。また 34 件全てについて検索式を立てて周辺特許調査を行って類似特許を抽出した。具体的には 1 件当り数百件の類似特許を抽出しその内特に近いものを数件選択して対比し新規性、類似性などのコメントを行った。

34 件の特許は大きな分類として、電気刺激装置 13 件、M I センサ（高周波キャリア型磁界センサ）9 件、3 次元位置測定装置 10 件、その他 2 件に分けられる。

電気治療装置に関する特許はいずれも応用特許であり基本的なものでは無い。内 11 件は電気刺激対象とした特許であり、狭い範囲を狙って、確実に権利化を狙っている。

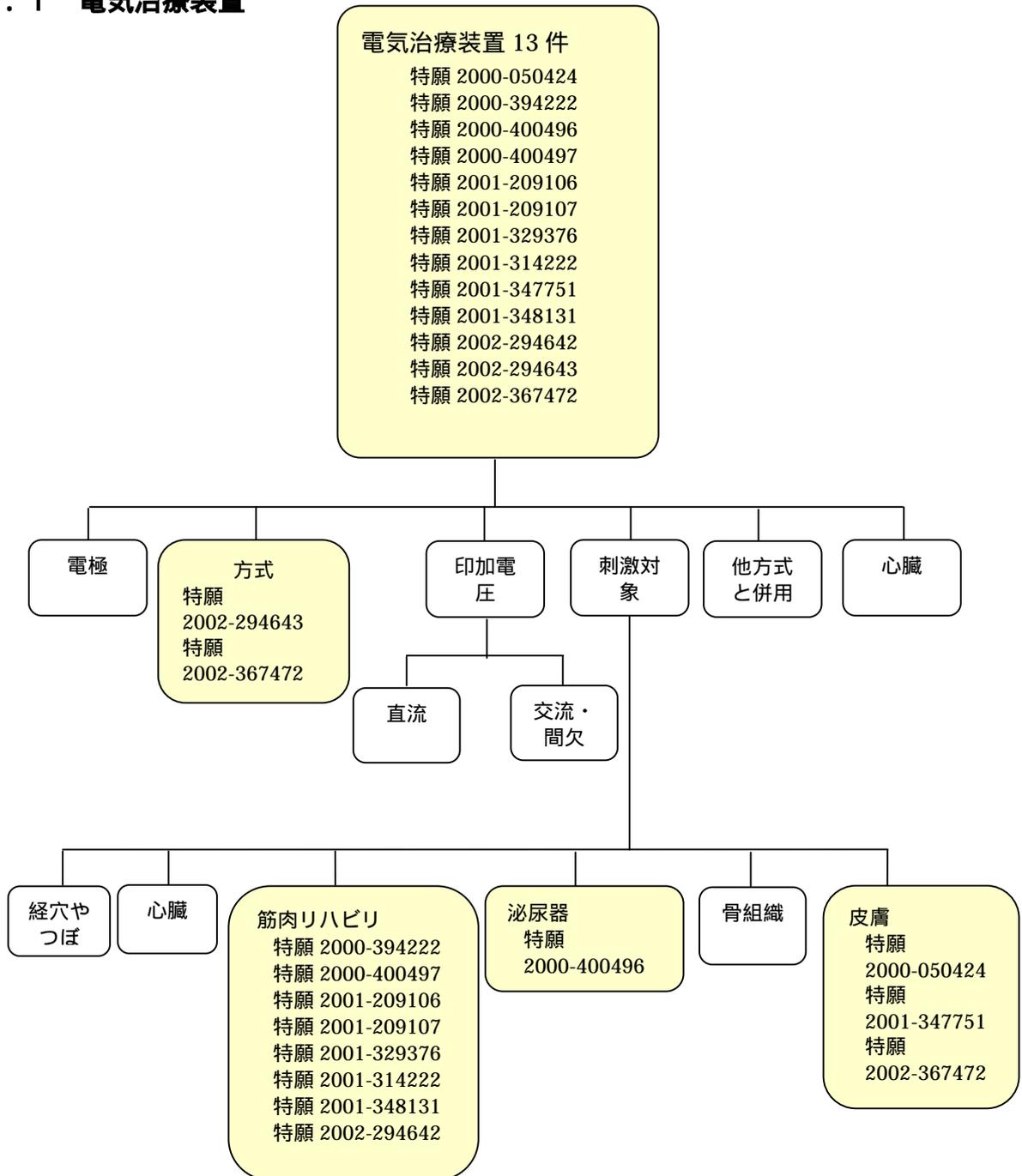
M I センサ（高周波キャリア型磁界センサ）は薄膜磁性材料と強磁性共鳴を利用した 3 件の特願が注目に値する。

3 次元位置測定装置は歪センサを用いた特許で生体安定信号を得る 2 件の特願と生体内に磁気マーカーを用いる 3 件の特願が注目に値する。

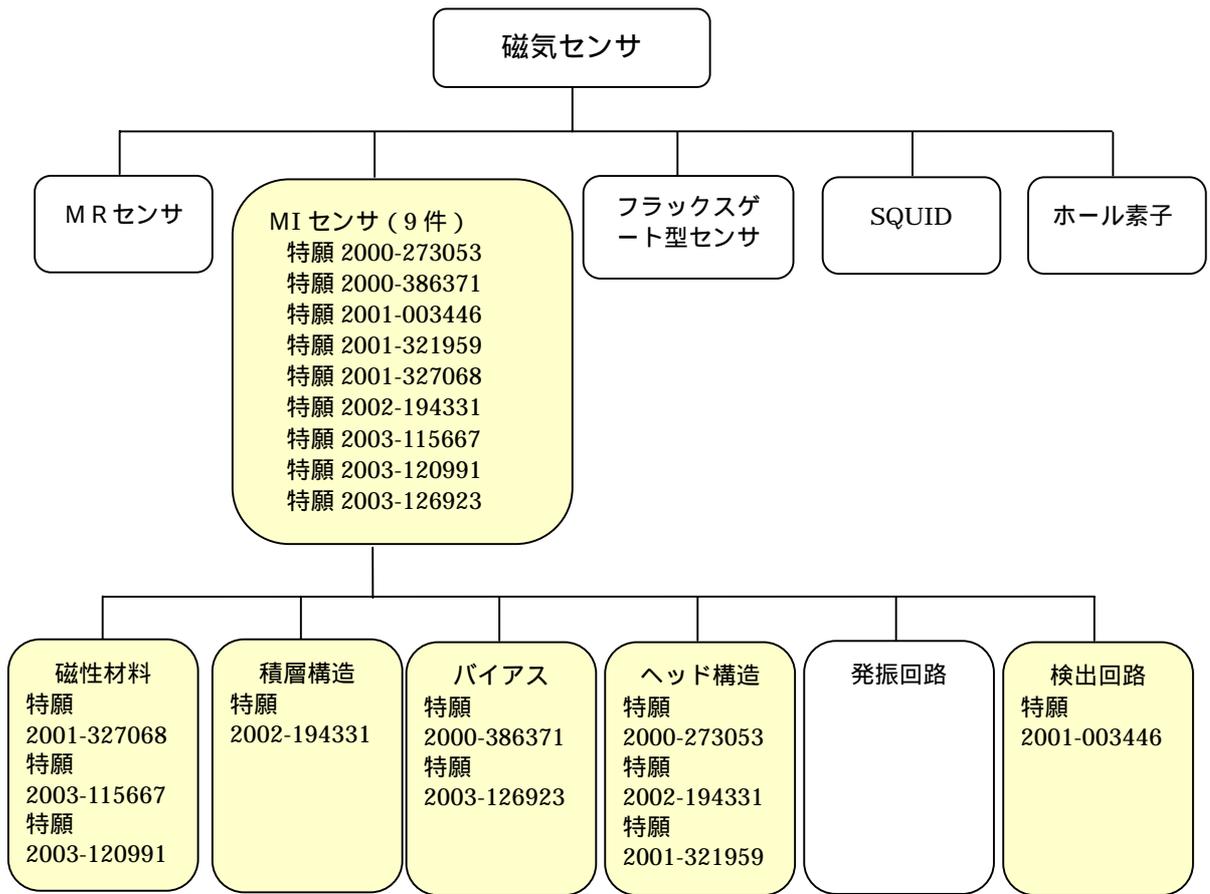
詳細は「周辺特許調査」として比較対象特許とともに C D - R にまとめ、発明者に配布した。

調査結果から当事業で申請した特許の新規性を 3 段階に分類を新技術エージェントの判断で試みた。 は新規性が高い、 は一部に新規性の可能性がある、 は類似性の可能性が有る、として下表に添付した。

## 1.1 電気治療装置



## 1.2 MI センサ (高周波キャリア型磁界センサ)



### 1・3 3次元位置測定装置

